

摂津市駐車場事業経営戦略

団 体 名 : 摂津市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 3 年 5 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態等

| 法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分 | 非適用 | 事 業 開 始 年 度 | | |
|----------------------------|--|---------------------|--------------------|-------------------------------|
| 施 設 名 | フォルテ摂津自動車駐車場 南摂津駅前第1自動車駐車場 | 構 | 造 | フォルテ摂津:平成4年度 南摂津駅前第1:平成9年度 |
| 立 地 | フォルテ摂津:JR千里丘駅 南摂津駅前第1:大阪モノレール 南摂津駅 | 建 設 後 の 経 過 年 数 | | フォルテ摂津:29年 南摂津駅前第1:24年 |
| 駐 車 場 使 用 面 積 | フォルテ摂津:2,072㎡ 南摂津駅前第1:3,372㎡ | 収 容 台 数 | | フォルテ摂津:190台 南摂津駅前第1:127台 |
| 営 業 時 間 | フォルテ摂津:5時~25時 南摂津駅前第1:24時間 | 一 時 間 当 た り の 料 金 | | 200円 |
| 経 常 収 支 比 率 (又は収益的収支比率) | H30 100% | R1 100% | R2 100% | |
| 稼 働 率 * | フォルテ摂津自動車駐車場 南摂津駅前第1自動車駐車場 | H30 7.0% 2.7% | R1 6.6% 2.2% | R2 6.0% 3.4% |
| 民 間 活 用 の 状 況 | ア 民間委託 | | | |
| | イ 指定管理者制度 | 利用料金制 | | |
| | ウ PPP・PFI | | | |

* $\left(\frac{\text{一日平均駐車台数} \times \text{一台当たり平均駐車時間}}{\text{収容台数} \times \text{営業時間}} \times 100 \right)$

(2) 料金形態

| | | |
|----------------------------|---|-----------------------------|
| 営業時間 | フォルテ摂津:5時から25時まで 南摂津第1:24時間 | |
| 一時利用 | 5時間まで 30分100円 5時間以上24時間まで 1,000円 (障害者は半額) | |
| 定期利用(1ヵ月) | フォルテ摂津 | 20,000円 機械式15,000円 (障害者は半額) |
| | 南摂津第1 | 13,000円 (障害者は半額) |
| 料金形態の考え方 | 過去の実績や周辺の駐車料金等から総合的な判断により、料金を見直している。 | |
| 料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない) | 平成24年7月1日 | |

(3) 駐車場実態調査による現状把握・分析

フォルテ摂津自動車駐車場及び南摂津駅前第1自動車駐車場においては、周辺に駅や商業施設、事業所等があり、その利用者が駐車場を利用しているが、商業施設は、小、中規模であり、自動車利用者は、近隣の大型店舗へ流れる傾向がある。また、民間駐車場も増えてきており、利用者は低い水準で推移している。

2. 経営の基本方針

- ・道路交通の円滑化
駐車場施設を整備することで、自動車を利用する者の利便に資するとともに、道路交通の円滑化を図る。
- ・商業支援
周辺商業施設への買い物客や事業者の駐車場として、市内の商業を支援する。
- ・経営基盤の強化
指定管理者と連携して安定経営を図る。
- ・満足度の高いサービスの提供
利用者のニーズを的確に把握し、顧客満足度向上に努める。

3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画): 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

安全・安心で快適な駐車場を提供するため、指定管理者と連携を図り、今後の修繕箇所・改修箇所について検討を行う。

② 収支計画のうち財源についての説明

指定管理者制度(利用料金制度)であり、指定管理者からの納付金が主な収入となる。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

納付金収入では、経営状況を改善することは困難であることから、支出の抑制に努め、経常利益の確保を図る。指定管理者と連携しサービス向上の取組を通じて、利用客の増加に努める。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

| | |
|------------|---|
| 民間活用 | 指定管理者と連携を図り、民間企業のノウハウを活用する。 |
| 駐車場の配置の適正化 | 当該駐車場は、駅前に位置する駐車場であり、周辺施設の駐車場としての役割を担っていることから、駐車場の配置は適性である。 |
| 投資の平準化 | 修繕箇所や設備投資をすべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。 |
| その他の取組 | — |

② 今後の財源についての考え方・検討状況

| | |
|--------------------|---|
| 料金 | 駐車場利用者の増進により、駅前にぎわいをより一層創出することを目的に、利用料金の引き上げを踏まえた料金設定の検討を行う。 |
| 利用者増加に向けた取組 | ・民間企業としての指定管理者のノウハウを活かし、駐車場のデッドスペースの新たな活用を検討する。 ・壁面塗装や案内看板等の見直しを実施し、利用者の満足度を高める。 |
| 企業債 | 経営戦略期間内において企業債の発行は考えていない。 |
| 繰入金 | 今後発生する大規模修繕において、一般財源からの多額の繰り入れを検討する。 |
| 資産の有効活用等による収入増加の取組 | 駐車場が駅前に位置し、収益が見込める場所であることから、効率的な運営に努め、財源の確保に努める。 |
| その他の取組 | — |

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

| | |
|-------------|----------------------------------|
| 委 託 料 | 指定管理者制度(利用料金制)を導入しており、管理業務を委託する。 |
| 管 理 運 営 費 | 指定管理者制度と協議し、適切な管理運営費を計上する。 |
| そ の 他 の 取 組 | — |

4. 公営企業として実施する必要性など

| | |
|----------------------|--|
| 事業の意義、提供するサービス自体の必要性 | 駅周辺で駐車場事業を継続的に運営することで、路上駐車が減少し道路交通の円滑化につながるとともに、鉄道駅の利用客や近隣商業施設等の駐車場として機能を有している。 |
| 公営企業として実施する必要性 | 円滑な道路交通という観点から、駐車スペースの確保は引き続き必要であると考えられます。また、市街地活性化のため、商業施設等の利用促進にもつながり、駐車場は重要な役割を果たしています。そのため、公営企業として駐車場を提供する必要性は引き続きあるといえます。 |

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

| | |
|---------------------|---|
| 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項 | 毎月の報告書やモニタリング等から進捗管理を行い、指定管理者の更新時や大規模改修等の時期を捉えて経営戦略の見直しを行う。 |
|---------------------|---|

投資・財政計画 (収支計画)

(単位:千円, %)

| 区 分 | 年 度 | | | | | | | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 収 支 再 差 引 (E)+(I) (J) | | | | | | | | | | | | |
| 積 立 金 (K) | | | | | | | | | | | | |
| 前年度からの繰越金 (L) | | | | | | | | | | | | |
| 前年度繰上充用金 (M) | | | | | | | | | | | | |
| 形 式 収 支 (J)-(K)+(L)-(M) (N) | | | | | | | | | | | | |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (O) | | | | | | | | | | | | |
| 実 質 収 支 黒 字 (P) | | | | | | | | | | | | |
| (N)-(O) 赤 字 (Q) | | | | | | | | | | | | |
| 赤 字 比 率 ($\frac{(Q)}{(B)-(C)} \times 100$) | | | | | | | | | | | | |
| 収益的収支比率 ($\frac{(A)}{(D)+(H)} \times 100$) | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金の不足額 (R) | | | | | | | | | | | | |
| 営業収益－受託工事収益 (B)-(C) (S) | | | | | | | | | | | | |
| 地方財政法による資金不足の比率 ((R)/(S)×100) | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法施行令第16条により算定した資金の不足額 (T) | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額 (U) | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法施行令第17条により算定した事業の規模 (V) | | | | | | | | | | | | |
| 健全化法第22条により算定した資金不足比率 ((T)/(V)×100) | | | | | | | | | | | | |
| 他会計借入金残高 (W) | | | | | | | | | | | | |
| 地 方 債 残 高 (X) | | | | | | | | | | | | |

○他会計繰入金

(単位:千円)

| 区 分 | 年 度 | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 収益的収支分 | 24,210 | 20,810 | 24,481 | 22,444 | 22,690 | 18,030 | 18,240 | 18,450 | 18,660 | 18,880 | 17,700 | 17,320 |
| うち基準内繰入金 | | | | | | | | | | | | |
| うち基準外繰入金 | 24,210 | 20,810 | 24,481 | 22,444 | 22,690 | 18,030 | 18,240 | 18,450 | 18,660 | 18,880 | 17,700 | 17,320 |
| 資本的収支分 | | | | | | | | | | | | |
| うち基準内繰入金 | | | | | | | | | | | | |
| うち基準外繰入金 | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 24,210 | 20,810 | 24,481 | 22,444 | 22,690 | 18,030 | 18,240 | 18,450 | 18,660 | 18,880 | 17,700 | 17,320 |